

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009.9.14

No.41

## いよいよ就職試験！！



16日(水)からいよいよ就職試験が始まります。多くの企業は16日に集中していますが、中には10月に入ってからという企業もあります。試験を前にしてそれなりに緊張感を持っていると思いますが、是非合格できるよう頑張りたいものです。会社に気に入ってもらえるように如何に振る舞うかを気にするよりも、自分の良さをどれだけ上手く会社に伝えられるかが何より大切です。また就職試験を受け身で捉えるのではなく、何としても自分を採用して欲しいという思いでのぞみましょう。おのずから当日の姿勢が違って来るはず。おどおどして実力を発揮できないのでは困ります。自信を持って、落ち着いて、元気よくのぞんでください。

校内の面接練習で先生方から指摘されたことは確実にクリアし、後に悔いを残さないようにしっかり準備をしておきましょう。

なお受験前日には必ず進路に顔を出し、受験報告書を受け取ってください。また、新型インフルエンザが疑われる場合は、早めに担任もしくは進路室に連絡しましょう。企業に配慮していただくよう連絡をします。



よくある質問に自分なりの回答を準備しておくこと

生活のリズムを整え、ベストコンディションでのぞもう

自信を持ち、落ち着いて、はきはきと元気よく話そう

分からないことは無理せずに

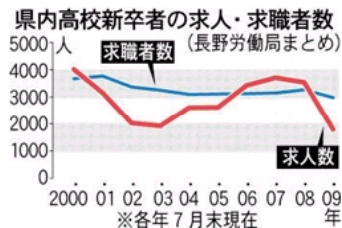
退室するまで面接は終わらない

県内高校生の求人半減 7月末時点、不況で倍率0.60倍

9月12日(土)

南信求人倍率0.66倍

来春卒業する県内高校生に対する7月末時点の求人数が、前年同期比49.4%減の1792人と、ほぼ半減していることが11日、長野労働局のまとめで分かった。記録が確認できる1992年以降で最少。求人倍率は0.60倍で前年同期を0.48ポイント下回り、この時期としては4年ぶりに1倍を切った。



県内主力の製造業の求人が激減しており、同局は「世界的な不況の影響が続いている」と説明。このまま推移すると、希望者の多くが就職できない事態も予想され、県教委は経済団体などに採用枠拡大を要請している。

産業別では、製造業が前年同期比60.0%減の853人となった。卸売業・小売業は54.4%減の99人、建設業は40.6%減の136人。職業別では「生産工程・労務」が57.6%減の889人。事務は53.7%減の112人となった。一方、求職者数は8.7%減の2981人で、5年ぶりに前年同期を下回った。

求人倍率を地域別に見ると、北信が0.86倍(前年同期比0.27ポイント低下)、中信は0.37倍(同0.31ポイント低下)、東信が0.46倍(同0.63ポイント低下)、南信が0.66倍(同0.67ポイント低下)で、製造業が集積する東信と南信で落ち込みが大きい。

左の記事は12日に発表になった信濃毎日新聞の記事です。

本当に厳しい数字です。単純に考えれば本校就職希望者の66%しか合格できないということになります。つまり20人は不合格ということ。実際に20人に留まってくればよいのですが・・・

この現実を前にしてもう一度気持ちを引き締め直し、是非一人でも多く合格できるように本番に備えて欲しいものです。皆さんの健闘を祈っています。